

かわさき

なわとび記録会

家族読書

2月21日(木)に、実施しました。1・3・6年生が2校時、2・4・5年生が3校時に行いました。5・6年生が、下級生の記録を計測しました。それぞれ自分で立てた目標目指して、みんな頑張りました。

最後に、グループに分かれて大縄跳びにも挑戦しました。



* めあての発表



* 持久跳び, 種目跳びに挑戦



持久跳び目標タイム達成者

- 1年生・・・8名
- 2年生・・・7名
- 3年生・・・8名
- 4年生・・・6名
- 5年生・・・6名
- 6年生・・・3名



* 大縄で8の字跳び

3年「さるじそう」

子：おじいさんがじそうさんになったのがびっくりしました。

母：猿たちが寝転がっているおじいさんをお地藏さんだと勘違いして、お堂に運んでいたのがおもしろかったです。

* ほのほのとする昔話ですよね。

2年「おやすみ エレン」

子：ねむるために、まほうのかいだんやさらさら川を下りたりする間に会ったどうぶつがみんなねむっていたから本当にねむくなるんだなと思った。

父：寝かしつけの絵本だったので弟に向けてやさしい口調で読んでいましたが、先に自分が眠くなってしまいました。

* 大人を眠りの国に誘うほど、素敵な本なのでしょうね。

4年「ママがおばけになっちゃった」

子：お母さんが死んじゃって、かんたろうが1人でできることをふやしたのがすごいと思いました。

母：事故で死んでしまったお母さんは子どもが心配で天国に行けません。ずっと子どもの様子を見ているという、母には分かるお話でした。

* 家族読書にかなりのご家庭で読んでいただいている本です。悲しいお話ですが、子どもが1人でできることを普段から増やしたいですね。

1年「あくま」

子：おそろしいまじょにあって、そこへあくまがきてまじょをやっつけたのがすごかった。そして、あくまがともだちになるうといっってまよってた。たのしかった。

母：弟に読み聞かせてくれました。普段はケンカばかりの2人が仲良く本をのぞき込んでいる姿が印象的でした。

* 本を読むときは、やさしいお姉ちゃんになるのですね。微笑ましい姿です。